




発表部門	小学校・ 中学校 ・フリー	学校名・団体名	東京都港区立高松中学校
発表タイトル	命をつなぎ、人が街で煌めく ~ PePPERが災害から人の命を守り、街づくりに貢献する ~		

発見した 疑問・困りごと	ひとことで	災害時に連動した駅路線案内、バス案内、ハザードマップの情報がない	
	くわしく	品川駅近くに住んでる知り合いの高齢者の方が、最近起こった台風や地震、浸水等の災害で、品川駅を利用する1日38万人の方々や近所の方をどのように避難させればよいのか、とても困ったということを知った。品川駅は、近くに羽田空港があり、小さな子どもや高齢者、観光で来ている外国人の方が多い。駅のアナウンスだけでは駅の路線状況を伝えるのが精一杯で限界がある。「街の人の命を守りたい」それが私たちの強い思いであり、発想の原点である。	
<ul style="list-style-type: none"> なぜこのテーマを選んだのか どこでこの課題に出会ったのか 自分にとってなぜ困るのか 			

Pepperを使って どうやって 解決したのか	ひとことで	循環型避難システムの構築及びオリジナルBOXの制作	
	くわしく	災害から逃れるために1番大切なことは、災害に関する正確な情報を得ることである。そのため港区のHPから避難場所のハザードマップを調べ、避難するための足がかりとした。また避難場所まで行くために、徒歩、駅路線案内(山手線全線)、電車が使えない場合を想定し、バス乗り場確認、バス路線案内(13系統)を取り入れ、循環型避難システムを構築した。また上記の複雑な回路を、一つにまとめオリジナルBOXとして全国に配布する環境を整えた。	
<ul style="list-style-type: none"> なぜPepperを使うのか 一番見て欲しいところはどこか 苦労や失敗したところはどこか 			

その結果 どうなったのか	ひとことで	誰でも正確な避難情報を入手し、人の命を守り、人が街で煌めく	
	くわしく	高松中学校の開校70周年記念式典まで、今回制作したPePPERを校舎内に配置した。二ヶ国語、視覚的な表示、音声案内を工夫した結果、子ども、高齢者、視聴覚障がい者、外国人の方など、とても使用しやすいと好評だった。また、ハザードマップで確認した後、電車、バスどちらを利用するか、一人一人の状況に応じて避難することができるという意見が多かった。この経験を通して、より命と向き合い、よい命の尊さを考え、人の命を守っていきたいと実感した。	
<ul style="list-style-type: none"> どこで、だれが使ったのか 何がどう変わったのか どのような気づきがあったのか 			